



青森県遊技業協同組合
大西康弘 理事長

■県遊協

- 東日本大震災復興支援活動の一環として「種差海岸振興事業」に対して75万円を寄贈し、八戸市長より感謝状を受領【写真①】【写真②】
- ヤクルト東北支部協賛で、元ヤクルトスワローズの3選手と八戸地区の少年野球チーム7チーム(約80名)による野球教室を開催

■支部

- 防犯協会へ防犯カメラを寄贈(青森支部)
- 県内の4自治体にリクライニング式の車いすを寄贈(西北五支部)【写真③】
- 東日本大震災後の防災林植栽事業に対し、活動資金30万円を寄贈(上十三・下北支部)

■ホール

- 院内学級支援や地域の活性化のために十和田市へ100万円を寄贈(株式会社エスタディオ)
- ブルタブを回収して車いすを老人福祉施設や病院などへ寄贈(株式会社マルハン、ライジング十和田、北大十和田キング店、ジャムフレンドクラブ三沢・上北・野辺地、朝日商事株式会社)
- ペットボトルのキャップを集めて、世界の子どもにワクチンを届けるための活動に参加(ニューグランド三戸、ライジング江陽、ネバーランド、株式会社マルハン)
- 台風18号により床下浸水被害に見舞われた住宅3軒の浸水した量をごみ処理施設へ運搬する奉仕活動を実施(朝日商事株式会社)



八戸市長から受領した感謝状【写真①】【写真②】



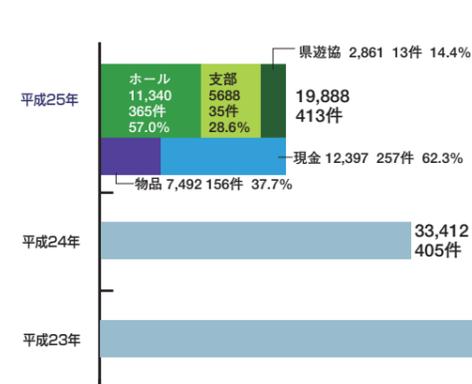
贈呈の様子【写真③】

DATA

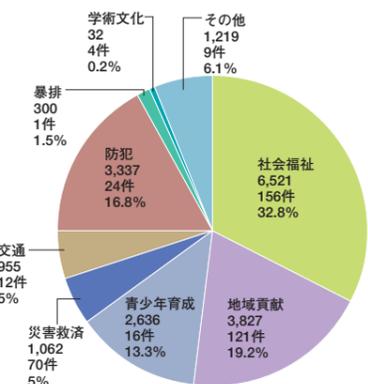
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合 (単位:千円)

■平成25年現金・物品の割合 (単位:千円)



■平成25年分野別、拠出額と割合 (単位:千円)



■県遊協

- 「第11回いわてパチンコ・パチスロカーニバル」等の益金から「いわての学び希望基金」に100万円、岩手県社会福祉協議会、いわて被害者支援センター、岩手防犯協会連合会、岩手県暴力団追放推進センターの4団体に100万円を寄贈
- 特定非営利活動法人サンガ岩手が活動している「被災地における内職プロジェクト-現地雇用創出と地域のコミュニティ構築を目指して-」事業に全日本社会貢献団体機構と共同して助成



お見舞金とお菓子の詰め合わせを寄贈【写真①】



プロ野球観戦に招待【写真②】



一戸町長へ教育資金を贈呈【写真③】

■支部

- チャリティーゴルフコンペの益金を、台風18号で浸水被害に遭った保育園にお見舞金10万円とお菓子の詰め合わせを寄贈(盛岡遊技業組合、紫波遊技業組合)【写真①】
- 児童養護施設の子ども達をクリネックススタジアム宮城で行われたプロ野球パ・リーグ楽天対西武公式戦に招待(一関地区遊技場組合 青年部会)【写真②】
- 児童養護施設へクリスマスサンタクロース慰問を行い、クリスマスプレゼントを寄贈(盛岡遊技業組合青年部会、一関地区遊技場組合青年部会)

■ホール

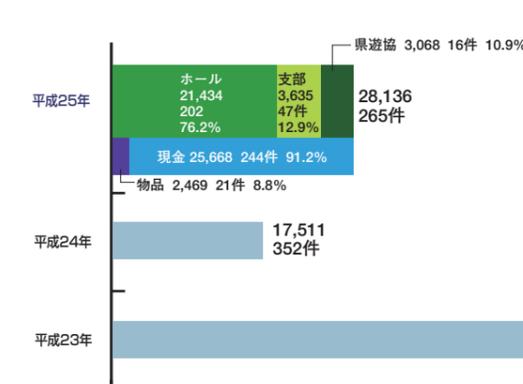
- 二戸市、一戸町、葛巻町、青森県三戸町の4つの小中学校へ教育資金800万円を寄贈、及び、国体を成功させるとともに、まちのスポーツ振興と健康な地域づくり、希望に満ちあふれるまちづくりを目的に、いわて国体一戸会場整備費用130万円を寄贈(株式会社アキヤマ)【写真③】
- 宮古市にて「第6回秋祭り」を開催し、屋台、縁日ブースなどの売上金338,350円を宮古市に寄付したほか、来場者参加のカラオケ大会を開催(有限会社公案)

DATA

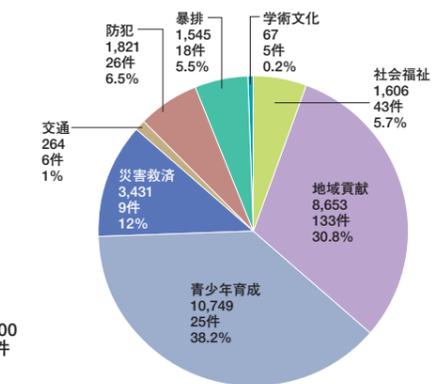
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合 (単位:千円)

■平成25年現金・物品の割合 (単位:千円)



■平成25年分野別、拠出額と割合 (単位:千円)





宮城県遊技業協同組合
竹田 隆 理事長

■県遊協

- 視覚障がい者の自立と社会参加を促進するための盲導犬育成事業への支援活動を実施。平成12年より継続
- 「東日本大震災みやぎ子ども育成基金」へ100万円、「NPO法人東日本大震災子ども未来基金」へ100万円を寄贈【写真①】

■支部

- ペットボトルのキャップを集めて、世界の子どもにワクチンを届けるための活動に参加(古川地区遊技業組合)

■ホール

- 日本赤十字社宮城県支部と連携して、11カ所のホールの管理者、従業員、来店客等に献血を呼びかけ、日本赤十字社の活動を支援(扇屋商事株式会社)【写真②】
- 宮城県から「スマイルロードサポーター」としての認定を受け、県内の全18店舗で毎月3回店舗近隣、国・県道(歩道等)の清掃活動を実施(扇屋商事株式会社)
- 被災地の子どもたちを元気づけるため、12回にわたって県内の小学校、仮設住宅等において映画上映会、紙芝居、ゲーム大会を実施(仙台観光株式会社)
- 小学生を対象にした「ケイセンカップラジオ石巻少年野球大会」を開催(株式会社ケイセン)



震災復興支援団体へ寄付金を贈呈【写真①】



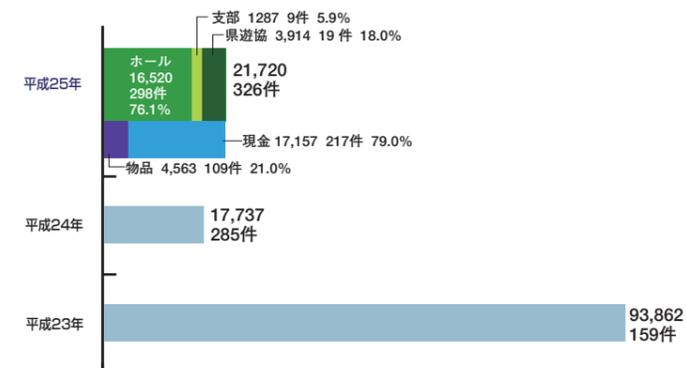
日本赤十字社の献血活動を支援【写真②】

DATA

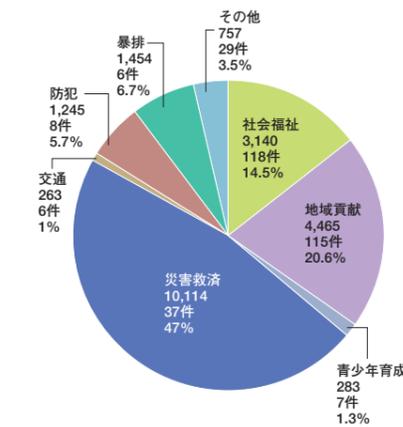
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合 (単位:千円)

■平成25年現金・物品の割合 (単位:千円)



■平成25年分野別、拠出額と割合 (単位:千円)



秋田県遊技業協同組合
新井昌吉 理事長



■県遊協

- 「第6回あきたパチンコ・パチスロカーニバル」を開催し、益金を利用して老人施設等4施設にリクライニング車いす等を寄贈するとともに、震災協賛金を日本赤十字社に寄贈
- ヤクルト本社東日本支店との共催事業として、秋田県内の知的障がい者福祉施設に「年賀シール」貼付作業を依頼し、謝礼としてポータブルトイレ、掃除機、空気清浄機等を寄贈【写真①】
- 株式会社ヤクルト本社東北支店及び横手ヤクルト販売株式会社の協賛で、元ヤクルトスワローズ3選手を招いて少年野球教室を開催【写真②】

■支部

- 小学校新入生に対し、防犯ブザーを寄贈(北秋田地区組合、大仙地区組合、鹿角地区組合)
- 秋田市内の母子生活支援施設4カ所に、クリスマスプレゼントの寄贈とフルーツとバイオリンの演奏やダンスパフォーマンスなどのミニお楽しみ会を実施(秋田中央遊技業協同組合)
- 献血活動(秋田中央遊技業協同組合 青年部会、10ホールで実施)

■ホール

- ホール駐車場で献血を実施(マルハン由利本荘店・追分店、ビィギャル男鹿店・能代店、ダイナム本荘店・大館店)
- 除雪ボランティアを実施(マルハン由利本荘店)
- 地域清掃活動に参加(ビィギャル能代店)



「年賀」シール貼付作業を福祉施設に依頼【写真①】



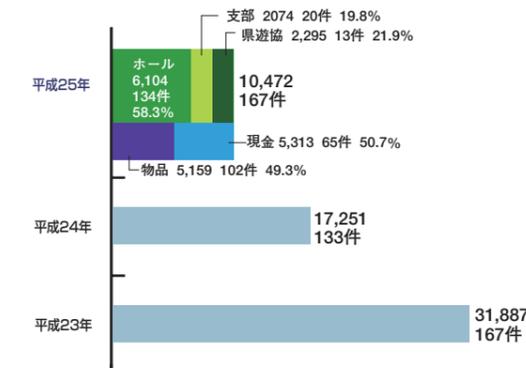
少年野球教室を開催【写真②】

DATA

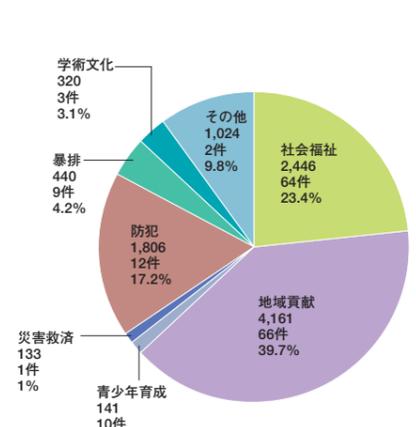
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合 (単位:千円)

■平成25年現金・物品の割合 (単位:千円)



■平成25年分野別、拠出額と割合 (単位:千円)





山形県遊技業協同組合
井上 静夫 理事長

■県遊協

- 最上町教育事務所・最上地区少年補導員連絡会の後援とヤクルトグループの協賛により、少年野球教室を開催し、野球の基本動作と健全なスポーツ精神を指導【写真①】
- 山形県防犯協会連合会と山形県少年補導員連絡協議会に「巡回用ベスト」70着等を寄贈
- 山形県防犯協会連合会へ活動助成金として100万円を寄贈
- 県内4支部において、各市町の防犯協会及び社会福祉協議会に対し、現金195万円、災害発生時用発電機、移動手段としてのミニバイク、交通事故防止用ロングリストバンド、青少年健全育成のための色鉛筆、定規等を寄贈



少年野球教室を開催【写真①】

■ホール

- 「端玉お菓子募金箱」を設置し、集まったお菓子を県内の児童養護施設(5施設)に寄贈。平成15年より継続しており、今年で12年目。期間中は20回訪問(株式会社マル幟)
- 募金箱を設置し、未来ある子ども達への支援を軸に障がい者支援・災害支援・NPO支援を実施(株式会社マル幟)
- チャリティーゴールデンウィーク祭りやチャリティー夏まつりなどを開催。売上金を東日本大震災子ども支援募金に寄贈(株式会社マル幟)【写真②】
- 県内の児童養護施設5カ所に合計100万円を寄贈(株式会社マル幟)
- クリスマスイベントとして山形県の児童福祉施設の子ども達に家電製品、玩具、お菓子などを寄贈(株式会社エスタディオ)
- 町内の少年少女スポーツ振興や環境整備等地域活性化のために100万円を寄贈(株式会社エスタディオ)
- 山形市内の児童を対象とした野球教室の開催や社員30名が献血活動に参加(株式会社ベガスベガス)



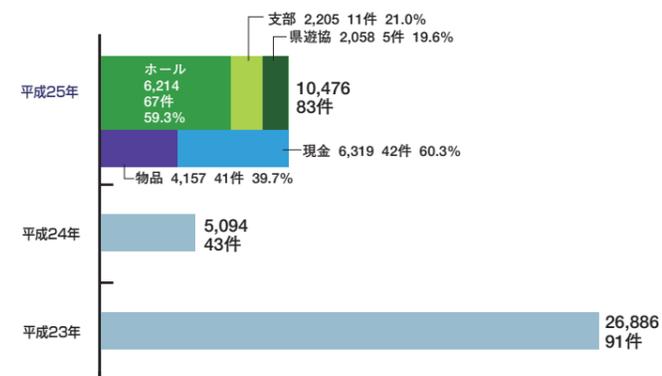
チャリティーゴールデンウィーク祭りを開催【写真②】

DATA

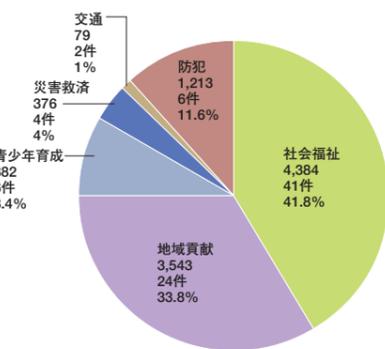
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合 (単位:千円)

■平成25年現金・物品の割合 (単位:千円)



■平成25年分野別、拠出額と割合 (単位:千円)



■県遊連

- 東日本大震災により、太平洋沿岸地域から避難を余儀なくされた方々に、少しでも悲しみを忘れ楽しんでいただくことを目的として、「福島県応急仮設住宅 カラオケ歌合戦2013」の予選会、決勝大会を開催【写真①】

■支部

- 全国地域安全運動出動式に出席(福島地区遊技業協同組合)

■ホール

- 地域の大人と子どもたちとのふれあいを主として「こどもまつり」にブースを出店するなど運営スタッフとして参加(ニラク福島笹木野店)
- エコキャップ300kgを回収し、世界の子どもたちにワクチンを届けるための活動に参加(マルハン会津若松一箕店・小名浜店)
- 平成14年度より12年目となる「釈迦堂川全国花火大会」の運営に協力(株式会社ニラク)【写真②】
- 震災以降、学生向けの就職活動支援無料バス(Smile Express)を、東京駅～郡山駅間で、1日1往復運行(株式会社ニラク)
- 相馬市の仮設住宅へ首巻用冷却剤を提供(ダイナム相馬店)

福島県遊技業協同組合連合会
Presents
福島県応急仮設住宅カラオケ歌合戦2013

募集期間 募集中!
予選会参加 仮設住宅

カラオケで仮設住宅を盛り上げよう

主催	福島県遊技業協同組合連合会
共催	ニラク福島
実施期間	予選会 2013年9月~11月上旬 決勝大会 2013年11月22日
実施会場	予選会 各仮設住宅 集会所等 決勝大会 ビッグバレットふくしま コンベンションホール (300名程度)
実施内容	福島県内の仮設住宅10ヶ所にて「カラオケ歌合戦」の予選会を実施し、上位2名様が決勝大会に進出
賞品	決勝大会 優勝・準優勝・第3位・審査員特別賞 決勝大会特別番組 11月30日 14:00~15:00

事務局 宇津宮町4-4-10 株式会社ニラク福島 企画事業部
TEL 024-531-4320 FAX 024-531-4329 E-mail kikaku@rfc.jp

「福島県応急仮設住宅カラオケ歌合戦2013」を実施【写真①】



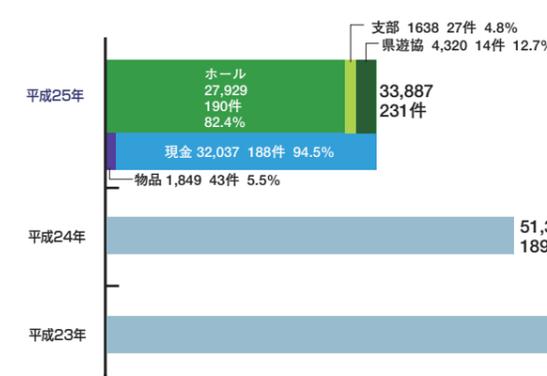
「釈迦堂川全国花火大会」にて駐車場を観覧場所として提供【写真②】

DATA

※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合 (単位:千円)

■平成25年現金・物品の割合 (単位:千円)



■平成25年分野別、拠出額と割合 (単位:千円)

